
令和 7 年 第 2 回（定例）日 南 町 議 会 会 議 録（第 4 日）

令和 7 年 3 月 26 日（水曜日）

議事日程（第 4 号）

令和 7 年 3 月 26 日 午前 9 時開議

日程第 1	発議第 1 号	日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について
日程第 2	発議第 2 号	日南町住宅改修助成条例の一部改正について
日程第 3	議案第 35 号	日野町江府町日南町衛生施設組合理約の一部を改正する協議について
日程第 4	議案第 36 号	日南町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正等に関する条例の制定について
日程第 5	議案第 3 号	権利の放棄について（水道使用料債権及び下水道使用料債権）
日程第 6	議案第 9 号	日南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
日程第 7	議案第 10 号	日南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
日程第 8	議案第 12 号	日南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
日程第 9	議案第 13 号	日南町簡易水道等施設の設置及び給水に関する条例の一部改正について
日程第 10	議案第 14 号	日南町いきいき定住促進条例の一部改正について
日程第 11	議案第 15 号	日南町緑と水のふるさと活性化基金条例の廃止について
日程第 12	議案第 16 号	日南町用品調達基金条例の廃止について
日程第 13	議案第 17 号	日南町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止について
日程第 14	議案第 18 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
日程第 15	議案第 37 号	令和 6 年度日南町一般会計補正予算（第 10 号）
日程第 16	議案第 26 号	令和 7 年度日南町一般会計予算
日程第 17	議案第 27 号	令和 7 年度日南町国民健康保険特別会計予算
日程第 18	議案第 28 号	令和 7 年度日南町介護保険特別会計予算
日程第 19	議案第 29 号	令和 7 年度日南町介護サービス事業特別会計予算
日程第 20	議案第 30 号	令和 7 年度日南町後期高齢者医療特別会計予算
日程第 21	議案第 31 号	令和 7 年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計予算
日程第 22	議案第 32 号	令和 7 年度日南町簡易水道事業会計予算
日程第 23	議案第 33 号	令和 7 年度日南町下水道事業会計予算
日程第 24	議案第 34 号	令和 7 年度日南町病院事業会計予算

- 日程第25 令和7年陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- 日程第26 令和7年陳情第2号 裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情
- 日程第27 議員派遣の件
- 日程第28 委員会の閉会中の継続調査について
(議会運営委員会の調査)
(総務教育常任委員会の調査)
(経済福祉常任委員会の調査)
(議会広報常任委員会の調査)
(中心地域及び住宅政策調査特別委員会の調査)
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 発議第1号 日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について
- 日程第2 発議第2号 日南町住宅改修助成条例の一部改正について
- 日程第3 議案第35号 日野町江府町日南町衛生施設組合規約の一部を改正する協議について
- 日程第4 議案第36号 日南町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正等に関する条例の制定について
- 日程第5 議案第3号 権利の放棄について(水道使用料債権及び下水道使用料債権)
- 日程第6 議案第9号 日南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 日程第7 議案第10号 日南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 日程第8 議案第12号 日南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第9 議案第13号 日南町簡易水道等施設の設置及び給水に関する条例の一部改正について
- 日程第10 議案第14号 日南町いきいき定住促進条例の一部改正について
- 日程第11 議案第15号 日南町緑と水のふるさと活性化基金条例の廃止について
- 日程第12 議案第16号 日南町用品調達基金条例の廃止について
- 日程第13 議案第17号 日南町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止について
- 日程第14 議案第18号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 日程第15 議案第37号 令和6年度日南町一般会計補正予算(第10号)
- 日程第16 議案第26号 令和7年度日南町一般会計予算
- 日程第17 議案第27号 令和7年度日南町国民健康保険特別会計予算

- 日程第18 議案第28号 令和7年度日南町介護保険特別会計予算
- 日程第19 議案第29号 令和7年度日南町介護サービス事業特別会計予算
- 日程第20 議案第30号 令和7年度日南町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第21 議案第31号 令和7年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計予算
- 日程第22 議案第32号 令和7年度日南町簡易水道事業会計予算
- 日程第23 議案第33号 令和7年度日南町下水道事業会計予算
- 日程第24 議案第34号 令和7年度日南町病院事業会計予算
- 日程第25 令和7年陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- 日程第26 令和7年陳情第2号 裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情
- 日程第27 議員派遣の件
- 日程第28 委員会の閉会中の継続調査について
 （議会運営委員会の調査）
 （総務教育常任委員会の調査）
 （経済福祉常任委員会の調査）
 （議会広報常任委員会の調査）
 （中心地域及び住宅政策調査特別委員会の調査）

出席議員（9名）

2番 高橋洋志君	3番 荒木博君
4番 荒金敏江君	5番 岡本健三君
6番 岩崎昭男君	7番 大西保君
8番 櫃田洋一君	9番 近藤仁志君
10番 山本芳昭君	

欠席議員（なし）

欠 員（1名）

事務局出席職員職氏名

局長 長崎みよ君 書記 倉光祐希君

説明のため出席した者の職氏名

町長 中村英明君 副町長 角井学君
 教育長 青戸晶彦君 総務課長 實延太郎君

まち未来創造課長	島 山 圭 介君	地域づくり推進課長	浅 田 雅 史君
住民課長	島 山 亮 子君	環境エネルギー課長	宇 田 聖 子君
福祉保健課長	出 口 真 理君	こども若者未来課長	段 塚 直 哉君
農林課長	坂 本 文 彦君	建設課長	渡 邊 輝 紀君
教育次長	三 上 浩 樹君	会計管理者	高 柴 博 昭君
農業委員会事務局長	高 橋 裕 次君	病院事業管理者	福 家 寿 樹君

午前 9 時 0 0 分開議

○議長（山本 芳昭君） おはようございます。

ただいまの出席は 9 名です。定足数に達していますので、令和 7 年第 2 回日南町議会議定例会を再開します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、タブレットの日程ファイルのとおりです。

タブレットの追加報告書フォルダーをお開きください。

例月出納検査ファイルをお開きください。本町の監査委員から令和 7 年 3 月 18 日付をもって報告のあった地方自治法第 235 条の 2 の規定による例月出納検査の結果については、報告書のとおりです。

定期監査結果ファイルをお開きください。同じく本町の監査委員から令和 7 年 3 月 18 日付をもって報告のあった地方自治法第 199 条第 4 項の規定による定期監査の結果は、報告書のとおりです。

日程第 1 発議第 1 号 及び 日程第 2 発議第 2 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット議会報告・発議ファイルをお開きください。

日程第 1、発議第 1 号、日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について、日程第 2、発議第 2 号、日南町住宅改修助成条例の一部改正について、以上、条例の一部改正の発議 2 議案を一括議題とします。

各案につき、提案者から提案理由の説明を求めます。

経済福祉常任委員会委員長、檀田洋一議員。

○経済福祉常任委員会委員長（檀田 洋一君）

.....

発議第 1 号

日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について

次のとおり、日南町意欲ある農業者支援条例の一部を改正することについて、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 109 条第 6 項及び第 7 項並びに日南町議会議規則第 14 条第 3 項の規定により提出する。

令和 7 年 3 月 26 日提出

提出者 日南町議会 経済福祉常任委員会
委員長 櫃 田 洋 一

.....
日南町意欲ある農業者支援条例の一部を改正する条例。日南町意欲ある農業者支援条例の一部を次のように改正する。令和7年3月31日、有効期限を迎える日南町意欲ある農業者支援条例について、有効期限を延長し、制度を継続するものです。

改正の内容は、条例の有効期限を令和10年3月31日まで延長するものです。また、条例で規定している様式を要綱で定めることとし、それに関連する条ずれ等の改正も行うものです。施行期日は、公布の日からとするものです。

○議長（山本 芳昭君） 総務教育常任委員会委員長、大西保議員。

○総務教育常任委員会委員長（大西 保君）

.....
発議第2号

日南町住宅改修助成条例の一部改正について

次のとおり、日南町住宅改修助成条例の一部を改正することについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第109条第6項及び第7項並びに日南町議会会議規則第14条第3項の規定により提出する。

令和7年3月26日提出

提出者 日南町議会 総務教育常任委員会
委員長 大 西 保

.....
日南町住宅改修助成条例の一部を改正する条例。令和7年3月31日に有効期限を迎える日南町住宅改修助成条例について、有効期限を延長し、制度を継続するものです。

改正の内容は、次のとおりです。条例の有効期限を令和10年3月31日まで延長すること。第1条、趣旨に、地域内経済の循環を図る目的を記入すること。第4条、助成対象工事(5)に、条例に定めるもののほか、対象となるものが発生した場合には、要綱で定めて運用することを想定すること。条例で規定している様式を要綱で定めることにし、あわせて、それに関連する条ずれ等の改正も行うもの。施行期日は、公布の日からです。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（山本 芳昭君） これより各案に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

討論、採決は、発議ごとに行います。

日程第1、発議第1号、日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

発議第 1 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 2、発議第 2 号、日南町住宅改修助成条例の一部改正についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

発議第 2 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 3 議案第 3 5 号

○議長（山本 芳昭君） タブレットの追加議案書ファイル 2 ページをお開きください。

日程第 3、議案第 3 5 号、日野町江府町日南町衛生施設組合理約の一部を改正する協議についてを議題とします。

本案につき、提案者から提案理由の説明を求めます。

中村町長。

○町長（中村 英明君） 議案第 3 5 号、日野町江府町日南町衛生施設組合理約の一部を改正する協議についてでございます。このことにつきまして、地方自治法第 2 8 6 条第 2 項の規定によりまして、日野町江府町日南町衛生施設組合理約の一部を改正することにつきまして、同法第 2 9 0 条の規定によりまして本議会の議決を求めるものでございます。

内容ですが、令和 7 年の 6 月 1 日で日野町江府町日南町衛生施設組合の事務所の位置を変更するため、同組合理約の一部を改正することにつきまして協議を行うものでございます。施行期日は令和 7 年 6 月 1 日であります。

具体的な内容でございますが、現在、日野町江府町日南町衛生施設組合の事務所ですが、江府町の役場内ということで定めておりますが、清化園であります江府町大字佐川 2 番地のほうの日野町江府町日南町衛生施設組合施設内のほうに変更するものでございます。

なお、本日議会のほうで議決をいただいた場合でございますが、衛生施設組合のほう

から県のほうへ届出を行いまして、変更届ですが、令和7年の6月1日をもって組合の事務所の位置の変更規約の、規約のほうの改正を行いたいというふうに思っております。いわゆる江府町役場の中の事務所の手狭っていうところの中での事務所の移動という内容でございます。よろしくお願いします。

○議長（山本 芳昭君） これより本案に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第3、議案第35号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第35号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第36号

○議長（山本 芳昭君） タブレットの3ページをお開きください。

日程第4、議案第36号、日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正等に関する条例の制定についてを議題とします。

本案につき、提案者から提案理由の説明を求めます。

中村町長。

○町長（中村 英明君） 議案第36号、日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正等に関する条例の制定についてでございます。日南町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正等に関する条例を制定することにつきまして、地方自治法第96条第1項の規定によりまして、本議会の議決を求めるものでございます。

内容ですが、刑法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律の施行によりまして、懲役及び禁錮刑が新たに拘禁刑として単一化されることに伴いまして、所要の改正を行うものでございます。

具体的な内容ですが、第1条のほうで、議会の個人情報保護条例の第53条から第55条に規定しております罰則の懲役を拘禁刑に改正するものでございます。また、第2条のほうで、罰則の適用等に関する経過措置のほうの措置を規定をしておるものでございます。施行期日ですが、令和7年6月1日であります。よろしくお願いします。

○議長（山本 芳昭君） これより本案に対する質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第４、議案第３６号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第３６号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第５ 議案第３号

○議長（山本 芳昭君） タブレット議案書ファイルをお開きください。２ページ。

日程第５、議案第３号、権利の放棄について（水道使用料債権及び下水道使用料債権）についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回は行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔質疑なし〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第５、議案第３号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第３号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第６ 議案第９号

○議長（山本 芳昭君） タブレット２１ページ。

日程第６、議案第９号、日南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回は行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 6、議案第 9 号についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 9 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 7 議案第 10 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット 24 ページ。

日程第 7、議案第 10 号、日南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 7、議案第 10 号についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 10 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 8 議案第 12 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット 27 ページ。

日程第 8、議案第 12 号、日南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 8、議案第 12 号についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 12 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 9 議案第 13 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット 30 ページ。

日程第 9、議案第 13 号、日南町簡易水道等施設の設置及び給水に関する条例の一部改正についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 9、議案第 13 号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 13 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 10 議案第 14 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット 33 ページ。

日程第 10、議案第 14 号、日南町いきいき定住促進条例の一部改正についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 10、議案第 14 号についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 14 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 11 議案第 15 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット 36 ページ。

日程第 11、議案第 15 号、日南町緑と水のふるさと活性化基金条例の廃止についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回は行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 11、議案第 15 号についての討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 15 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 12 議案第 16 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット 37 ページ。

日程第 12、議案第 16 号、日南町用品調達基金条例の廃止についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回は行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 12、議案第 16 号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 16 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第１３ 議案第１７号

○議長（山本 芳昭君） タブレット３８ページ。

日程第１３、議案第１７号、日南町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第１３、議案第１７号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第１７号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第１４ 議案第１８号

○議長（山本 芳昭君） タブレット３９ページ。

日程第１４、議案第１８号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてを議題とし、前回の議事を継続します。

本案に対する質疑は前回行いましたが、質疑漏れがあればこれを許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第１４、議案第１８号の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第１８号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 15 議案第 37 号

○議長（山本 芳昭君） タブレット予算関係フォルダー、追加議案第 37 号ファイルをお開きください。

日程第 15、議案第 37 号、令和 6 年度日南町一般会計補正予算（第 10 号）を議題とします。

本案につき、提案者から提案理由の説明を求めます。

中村町長。

○町長（中村 英明君） 議案第 37 号、令和 6 年度日南町一般会計補正予算（第 10 号）でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1 億 7,634 万 1,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 81 億 9,879 万 4,000 円とする内容でございます。

今回の補正の主な内容でございますが、地方交付税の最終確定によります増額によりまして、財政調整基金からの繰入額を減額するものであります。また、その他の経費としまして、除雪の委託料の増額など、必要経費等の追加について御提案をさせていただく内容でございます。

まず、歳入のほうですが、地方交付税として 4 億 2,139 万 1,000 円の増の内容でございます。内訳としまして、普通交付税のほうが 2 億 8,247 万 3,000 円、特別交付税のほうが 1 億 3,891 万 8,000 円の増額という内容であります。続きまして、県支出金でございますが、2,300 万円ちょうどであります。県道の除雪委託金の増額による内容でございます。繰入金ですが、マイナスの 2 億 6,805 万円でございます。財政調整基金繰入金の減額という内容でございます。

続いて、歳出のほうでございますが、総務費の財政管理事務ということで、1 億 3,334 万 1,000 円でございます。令和 5 年度の純繰越金の 2 分の 1 を下らない額を公共施設等建設基金に積み立てるものでございます。また、あわせまして、まち・ひと・しごと創生推進基金に企業版ふるさと納税の一部を積み立てるものでございます。続いて、土木費ですが、道路維持管理事業として 4,300 万円ちょうどであります。建設機械の消耗品費の組替え、それと除雪経費の最終見込額の精査による増額を予定している内容でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（山本 芳昭君） これより本案に対する質疑を許します。

初めに、歳入全体についての質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 次に、タブレット追加補正予算説明附属資料に沿って、各課ごとに許します。

初めに、タブレット 2 ページ上段、総務課について質疑を許します。

5 番、岡本健三議員。

○議員（５番 岡本 健三君） 確認ですが、別に予算の関係で、参考資料で交付税基金推計という資料を頂いております。この資料によると、令和０６見込みということで、財政調整基金２５億６,７００万円というふうに記述されてます。これは、この今回出ている補正を含めた見込額であるのかどうかということを確認です。

○議長（山本 芳昭君） 實延総務課長。

○総務課長（實延 太郎君） 当初の上程させていただいた見込みベースで作らせていただいた資料でございますので、若干変動があつてございます。令和６年度末の今日時点の見込みでございます。財政調整基金が、２３億１,６５３万円余りを予定をしてございます。

○議長（山本 芳昭君） ５番、岡本健三議員。

○議員（５番 岡本 健三君） そうすると、見込みでは財政調整基金、増えることになってますが、見込みよりも２億円ほど減ってるという、２億円以上ですね、２億円以上減ってるということなんですか。これは、要因としては交付税がそれだけ少なかったということなんですか。どういうことなんですか。

○議長（山本 芳昭君） 實延総務課長。

○総務課長（實延 太郎君） 財政調整基金の最終積立金としましては、当初、議員御指摘のとおり、２５億円余り予定をしてございましたが、最終的にいろいろとこのたび可決いただきました他の基金の廃止等によります財政調整基金への振替等も、当初見込んでいた額では２５億円余りでございましたが、最終的には現在２３億円余りで精査したところでございます。

なお、基金合計につきましては、定額運用基金、減債基金、その他目的基金含めると６５億９,７９８万円余りと、全体では基金額は総額は増える見込みでございます。

○議長（山本 芳昭君） 次に、下段、建設課について質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 令和６年度日南町一般会計補正予算（第１０号）について、質疑漏れはありませんか。

５番、岡本健三議員。

○議員（５番 岡本 健三君） すみません、そうすると、確認ですけれども、公共施設等建設基金積立金のほうに多く積み立ててるってということなんですかね。そういう状況なんですか。

○議長（山本 芳昭君） 實延総務課長。

○総務課長（實延 太郎君） 公共施設建設基金のほうにも積立てを行いまして、このたび上げております純繰越金部分１億円余りを増額しましたので、こちらが増えてございます。

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

日程第 15、議案第 37 号、令和 6 年度日南町一般会計補正予算（第 10 号）の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

議案第 37 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 16 議案第 26 号 から 日程第 24 議案第 34 号

○議長（山本 芳昭君） 日程第 16、議案第 26 号、令和 7 年度日南町一般会計予算、日程第 17、議案第 27 号、令和 7 年度日南町国民健康保険特別会計予算、日程第 18、議案第 28 号、令和 7 年度日南町介護保険特別会計予算、日程第 19、議案第 29 号、令和 7 年度日南町介護サービス事業特別会計予算、日程第 20、議案第 30 号、令和 7 年度日南町後期高齢者医療特別会計予算、日程第 21、議案第 31 号、令和 7 年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計予算、日程第 22、議案第 32 号、令和 7 年度日南町簡易水道事業会計予算、日程第 23、議案第 33 号、令和 7 年度日南町下水道事業会計予算、日程第 24、議案第 34 号、令和 7 年度日南町病院事業会計予算、以上、令和 7 年度当初予算関係 9 議案を一括議題とします。

タブレットの議会報告・発議フォルダー、予算審査報告書ファイルをお開きください。

各議案については、予算審査特別委員会を設置して審査を付託していますので、委員長から審査の経過及び結果についての報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長、櫃田洋一議員。

○予算審査特別委員会委員長（櫃田 洋一君）

.....

予算審査特別委員会審査報告書

本委員会に付託になった次の案件は、審査の結果次のとおり決定したので、日南町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

令和 7 年 3 月 26 日

日南町議会 予算審査特別委員会
委員長 櫃 田 洋 一

日南町議会議長 山 本 芳 昭 様

記

（付託案件）

議案第 26 号 令和 7 年度日南町一般会計予算

議案第 27 号 令和 7 年度日南町国民健康保険特別会計予算

議案第 28 号 令和 7 年度日南町介護保険特別会計予算

議案第 29 号 令和 7 年度日南町介護サービス事業特別会計予算

議案第 30 号 令和 7 年度日南町後期高齢者医療特別会計予算

議案第 31 号 令和 7 年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計予算

議案第 32 号 令和 7 年度日南町簡易水道事業会計予算

議案第 33 号 令和 7 年度日南町下水道事業会計予算

議案第 34 号 令和 7 年度日南町病院事業会計予算

（審査の経過及び結果）

本委員会は、令和 7 年 3 月 6 日、7 日、10 日、11 日、12 日、13 日、14 日、18 日、21 日に委員会を開催し、付託された各議案について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行なった。

その結果、令和 7 年度各会計予算は、議案第 26 号、第 27 号、第 28 号、第 29 号、第 30 号については賛成多数で、議案第 31 号、第 32 号、第 33 号、第 34 号については全員一致で、次に述べる意見を付して原案を可決すべきであると決定した。

（審査意見）

1. 一般会計

〈総務課〉

消防施設整備管理事業

自衛消防団の管理する消防ホースが経年劣化等で使用不能になった場合、自治会が更新費用の 1/2 を負担している。町が全額を負担すべきである。

〈地域づくり推進課〉

電算管理運営事務

ガバメントクラウド接続用の代替ネットワークとして、携帯電話通信事業者のネットワークを利用する予定である。しかし、携帯電話通信事業者の光ケーブルの一部は、町が敷設した光ケーブルを使用しており、さらに、敷設ルートも同じ電柱を経由している。そのため、災害時における代替ネットワークとしての実効性が懸念される。ついては、衛星通信など、より実効性の高い代替ネットワークの導入を検討されたい。

〈農林課〉

農業後継者育成対策事業

①「日南町農業者社会保険料等支援補助金」は、令和 3 年度に制定し運用してきた。しかし、十分な効果評価が行われないまま、補助期間が 5 年を迎える前に、令和 7 年度の予算計上が見送られた。

一方で、林業経営体向けに社会保険料の一部を助成する「担い手育成対策事業」は令和 7 年度も予算化されている。農業も町の基幹産業であることを踏まえれば、

農業経営の安定化と従業員の福利厚生のために、社会保険料助成の継続を検討されたい。

②収入保険の支払い保険料の20%助成が10%に減額され、令和7年度を最後にこれを廃止する方針が示された。有資格者の加入率が70%超であることを理由に廃止との説明であったが、費用対効果は顕著である。

経営の安定が不十分な若手トマト農家の育成や、技術が確立されておらず、環境変化に左右されるオーガニック栽培など、日南町が推進する農業振興の方針と相反する。制度の継続を強く望む。

林業後継者育成対策事業

林業アカデミー学生寮は、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用して建設する計画であり、現在、事業計画書の作成が進められている。

本計画書では、寮の入居条件を町外出身のアカデミー学生に限定し、さらに滞在期間を12ヶ月に制限している。しかし、これは日南町が推進すべき移住者向け住宅施策と相容れないものである。入居条件を緩和し、より柔軟に活用できるよう検討されたい。

また、寮の居室数は9室となっているが、林業アカデミーの定員数である12室を確保されたい。

2. 事業会計

日南町病院事業会計

病院事業費用

外国人留学生には、学費や住居費に充てる奨学金として3,870千円を貸与するが、病院で5年間勤務しなければ返還が生じる。

奨学金返還免除の条件について、留学生に理解を促し、将来のトラブルを未然に防がれたい。また、継続的な雇用を確保するためには、外国人雇用制度の調査や実績のある人材紹介事業者からの情報収集をさらに進められたい。

.....

○議長（山本 芳昭君） これより委員長報告に対する質疑を許します。

〔質疑なし〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

討論、採決は議案ごとに行います。

日程第16、議案第26号、令和7年度日南町一般会計予算の討論を許します。

まず、本案に対する反対者からの発言を許します。

5番、岡本健三議員。

○議員（5番 岡本 健三君） 令和7年度日南町一般会計予算に反対の立場で討論します。

まず、一般会計全般の問題として、会計年度任用職員の待遇があります。会計年度任用職員の方の中には勤続20年以上の方も少なくないにもかかわらず、おおよそ4年を超えると給与の号給が上限に達して、正職員の方との格差が広がる問題があります。格差を是正する何らかの対策を講じるべきです。

また、林業アカデミーの寮の整備や高性能林業機械の導入など、高額なハード事業が実施される一方で、種苗への補助が縮小されたり給食費の無償化が実施されないなど、ソフト事業に不十分さを感じます。

次に、電算管理運営事務の情報システムの標準化についてです。国は、標準化により3割程度の経費削減を目指していましたが、実際の試算によれば、日南町ではガバメントクラウド利用料が毎年1億円程度必要で、既存の総合行政システム利用料3,300万円と合わせ、これまでの約4倍の経費がかかることが分かりました。国はガバメントクラウド利用料に対して交付税を出すと言っていますが、どの程度の額が補填されるか分かりません。また、標準化によって、自治体独自の施策が後退するおそれもあります。多額の費用がかかり、効果が疑わしい事業は取りやめるよう、国へ申し入れるべきです。

3つ目に、塵芥処理事業の中の西部広域行政管理組合負担金です。この負担金の中には、新たな一般廃棄物処理施設を建設し、西部圏域のごみを1か所で処理する計画を進めるための費用が含まれています。しかし、そもそもごみ処理は各自治体が計画をつくり、自治体の責任で行うことが法律で定められています。そして、地球温暖化やプラスチックごみの増加などを防ぐための基本的な方針は、ごみの減量化とリサイクル、リユースです。これは、現在日南町でも「可燃ごみ減量大作戦！」などの事業で推し進められています。しかし、西部広域行政管理組合が進めるごみ処理の広域化は、建設費だけで360億円を超える多額の費用が必要な上、各自治体が進めるごみ減量化などの取組を後退させかねません。ごみ処理広域化の計画は白紙撤回すべきです。

以上が私の反対討論です。

○議長（山本 芳昭君） 次に、本案に対する賛成者からの発言を許します。

9番、近藤仁志議員。

○議員（9番 近藤 仁志君） 私は、委員長報告のとおり、本予算に賛成をいたしたいと思います。

自主財源が乏しい本町において限られた財源を有効に活用すべく、いろいろ中期財政見通しと行財政改革の視点を基にした予算編成になっていると感じました。特に先ほど同僚議員がおっしゃいましたが、ソフト事業とハード事業のバランスがハード事業に偏っているのではないかというような反対意見がありましたが、新規事業として病児・病後児保育、また、日野郡連携による小児科医の確保、みんなの遊び場整備、子育て世代の希望をかなえる施策を多く取り入れておられます。小・中学校の環境整備など、また、学校に上がられる生徒の環境整備なども十分対応しておられますし、また、高齢者に至

りましては高齢者見守りサービスの事業の充実、補聴器助成など、高齢者の不安解消に向けた取組もソフト事業として多く提案されております。

あわせまして、従前より行っております後継者育成対策や林業アカデミーの運営の充実と併せ、地域おこし協力隊の積極的活用を拡充していくという方針を示されております。これによって、町の底力を上げていく予算も盛り込んでおられますので、私は意見を付して、本予算に賛成をいたします。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

4 番、荒金敏江議員。

○議員（4 番 荒金 敏江君） 私は、一般会計の予算に反対する立場で討論に参加します。

標準準拠システム利用に伴うガバメントクラウドの利用料、ランニングコストは、毎年1億円以上となります。これについては交付税が措置されると言われていますが、その額はまだ決まっていません。将来にわたる町財政への影響が心配される中で、本契約を結ぶべきではないと考えます。

また、自衛官募集事務の一環として、住民の個人情報を名簿で自衛隊に提供しています。名簿提供については、自衛隊法施行令120条で提出を求めることができると規定されているだけで、石破茂氏が防衛庁長官のとき、衆議院個人情報の保護に関する特別委員会で、私どもが依頼をしても答える義務というのは必ずしもございませんと答弁しています。閲覧だけにとどめるべきと考えます。執行部から、名簿提供時に提供を希望しない除外申請を出した人の名簿は提供しないとの説明でしたが、返信がない場合の同意確認はしていないということでした。名簿を提供する場合には、提供を希望する旨の意向を確認できた人の名簿だけを提供すべきだと考えます。

また、海外派遣事業で参加できた生徒の学びの成果はあると思いますが、教育の機会均等、義務教育無償化に照らし、全員が参加できる事業にすべきと考えます。以上です。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

7 番、大西保議員。

○議員（7 番 大西 保君） 委員長報告に賛成の立場で討論いたします。

先ほどお二人の議員が、一般会計について、数項目に対しての反対意見を述べられましたが、令和7年度の一般会計の新規事業で、子育ての医療相談アプリ「いつでもドクター」の導入、核家族、共働き家族等で看病が困難な家庭の支援を行う病後児保育の環境整備、また、高齢者向けの補聴器の補助事業があります。特にこの補聴器補助事業については、2年前に亡くなられた議員が数年前より要望された事業であり、やっと実現したのです。したがって、お二人の議員が一般会計を反対することは、この補聴器の補助事業を反対することになります。予算審査で、一般会計については5項目の審査意見を付しており、私は委員長報告のとおり賛成いたします。

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第26号は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 起立6名です。起立多数です。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第17、議案第27号、令和7年度日南町国民健康保険特別会計予算の討論を許します。

まず、本案に対する反対者からの発言を許します。

5番、岡本健三議員。

○議員（5番 岡本 健三君） 令和7年度日南町国民健康保険特別会計予算に反対の立場で討論します。

御存じのとおり、国民健康保険税は、応能割と応益割の2つの部分から成り立っています。このうち応益割は、税を納める能力とは関係なく課税され、負担能力に応じた税負担の原則に反するものです。特に応益割のうちの均等割は人頭税のようなもので、その世帯にお子さんが誕生すると、お子さんには税を納める能力が全くないのに1人分の税金がかかります。まるで家族が増えることへのペナルティーのようなひずんだ制度です。現在、この均等割は、国の施策で未就学児に対して半額免除されています。これを町独自に18歳以下の子供全てに対して全額免除すべきです。必要な予算は100万円前後というふうに聞いております。令和6年度から日南町では資産割がなくなり、代わりに所得割の税率が上がっています。そのため、資産を持たない子育て世代の負担が重くなっている可能性もあり、今こそ子供の均等割全額免除を実現すべきです。

以上で討論を終わります。

○議長（山本 芳昭君） 次に、本案に対する賛成者からの発言を許します。

7番、大西保議員。

○議員（7番 大西 保君） 委員長報告に賛成の立場で討論いたします。

日本では国民皆保険制度を取っており、全ての人が必ず何らかの健康保険制度に加入することになっております。会社などの健康保険に加入している人、生活保護を受けている人以外は、国民健康保険に加入しなければならないとなっております。そもそも国民健康保険については、扶養という概念はありません。日南町では、令和6年度から保険の保険料は所得割と均等割と平等割の3方式となり、資産割はなくなりました。保険料の改定等については、日南町国民健康保険の運用に関する協議会で検討されることになっているので、協議会の決定を尊重したいと思います。したがって、私は委員長報告のとおり賛成いたします。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 27 号は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 起立 6 名です。起立多数です。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 18、議案第 28 号、令和 7 年度日南町介護保険特別会計予算の討論を許します。

まず、本案に対する反対者からの発言を許します。

4 番、荒金敏江議員。

○議員（4 番 荒金 敏江君） 介護保険特別会計予算に反対の立場で討論します。

介護保険法第 115 条の 49、保健福祉事業の項に、市町村は、介護保険施設の運営その他の保険給付のために必要な事業を行うことができると規定されています。日南福祉会は、職員不足により保険給付も限定せざるを得ない状況です。保健福祉事業には、また、要介護被保険者を現に介護する者の支援に必要な事業を行うことができるという規定もあります。介護サービス利用料への補助や職員の処遇改善を、介護給付準備基金または一般会計で行うべきと考えます。平成 31 年度から町独自に中山間地域介護サービス確保対策事業をしていますが、それでもなお経営難に陥っている原因は、介護保険創設後、介護報酬の大幅引下げが続き、若干の引上げがされたものの、特に昨今の物価高に対応し切れないためです。介護給付費準備基金または一般会計で利用料の補助や職員の待遇改善をすべきと考えます。以上です。

○議長（山本 芳昭君） 次に、本案に対する賛成者からの発言を許します。

3 番、荒木博議員。

○議員（3 番 荒木 博君） 私は、委員長報告に賛成の立場で討論をいたします。

令和 7 年度介護保険特別会計について、予算は日南町老人福祉計画及び第 9 期介護保険事業計画に基づいて提案されており、日南町の介護の現状に即した介護予防や介護サービス等が計画されていると思っています。特にデイサービスやいきいき百歳体操などは、住民の健康管理や認知症予防に効果が認められているところです。先ほどありました介護給付準備基金の活用については、事業費の不足分、赤字のときや災害などの不測の事態に備えるものであると私は思っております。よって、介護保険特別会計については、賛成の立場です。以上です。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 28 号は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 起立 6 名です。起立多数です。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 19、議案第 29 号、令和 7 年度日南町介護サービス事業特別会計予算の討論を許します。

まず、本案に対する反対者からの発言を許します。

4 番、荒金敏江議員。

○議員（4 番 荒金 敏江君） 介護保険サービス事業特別会計予算に対して反対の立場で討論します。

あかねの郷は、町が建設した建物を平成 17 年、2005 年から日南福祉会が指定管理を受けて運営している介護保険事業です。全館平家の建設コストの高い施設です。2000 年に介護保険が始まった後、大幅な介護報酬引下げが続いています。特に第 2 期、3 期、6 期に大幅な引下げがあり、その後若干の引上げが続いていますが、福祉会発足当初の介護報酬には遠く及びません。人件費比率が高い介護事業所では、経営のためには労働条件の改善が困難で、職員を確保できなくなる悪循環に陥っています。町独自の中山間地域介護サービス確保対策事業をしてもなお介護サービスを十分に提供できない現状を重く受け止めるべきです。町内唯一の介護保険施設としてなくてはならない日南福祉会から利用料を求めることはやめ、職員の待遇改善に使えるようにすべきと考えます。以上です。

○議長（山本 芳昭君） 次に、本案に対する賛成者からの発言を許します。

8 番、櫃田洋一議員。

○議員（8 番 櫃田 洋一君） 私は、令和 7 年度日南町介護サービス事業特別会計予算に賛成の立場で討論いたします。

福利厚生充実と経営に努力されています。今後も、経営について町との協議を継続していくべきと考えます。よって、賛成の立場です。以上です。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

〔討論なし〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 29 号は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 起立 6 名です。起立多数です。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 20、議案第 30 号、令和 7 年度日南町後期高齢者医療特別会計予算の討論を許します。

まず、本案に対する反対者からの発言を許します。

5 番、岡本健三議員。

○議員（5 番 岡本 健三君） 令和 7 年度日南町後期高齢者医療特別会計予算に反対の立場で討論します。

当然の話ですが、75 歳以上の高齢者の方は病気にかかるリスクが大きい上に年金生活の方が多いため、保険料の負担能力が低く、リスク分散が働かないため、保険方式になじまない制度です。実際、後期高齢者の保険料では、給付費の 1 割程度しか賄えず、公費や支援金に大部分を頼っています。そのため、保険料の値上げや窓口負担の割合の見直しなどを常に迫られています。このような世界にも例を見ない制度はやめるべきです。そのように国へ申し入れるべきです。

以上で討論を終わります。

○議長（山本 芳昭君） 次に、本案に対する賛成者からの発言を許します。

3 番、荒木博議員。

○議員（3 番 荒木 博君） 私は、委員長報告に賛成の立場で討論をいたします。

日南町においては、後期高齢者医療の被保険者の対象者が減少傾向にありますが、入院の長期化や高度な医療により、医療費全体は増加しております。保険料については、保険料率が令和 6 年度より見直され値上がりしていますが、所得の低い方については、世帯所得に応じた軽減措置が取られております。この制度を安定して継続していくためには、必要であると考えております。

また、保険制度というのは、後期高齢者医療保険制度を 2 つに分けた理由というのは、日本の国民の皆保険制度を維持していくためのものであると考えており、日本の医療の安全やサービスの質を落とさずに安定した恒久的な保険制度にするためのものであると考えております。以上です。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 30 号は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 起立 6 名です。起立多数です。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第 21、議案第 31 号、令和 7 年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計予算の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 3 1 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、委員長報告のとおり可決されました。

日程第 2 2、議案第 3 2 号、令和 7 年度日南町簡易水道事業会計予算の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 3 2 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、委員長報告のとおり可決されました。

日程 2 3、議案第 3 3 号、令和 7 年度日南町下水道事業会計予算の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 3 3 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、委員長報告のとおり可決されました。

日程第 2 4、議案第 3 4 号、令和 7 年度日南町病院事業会計予算の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

議案第 3 4 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、本案は、委員長報告のとおり可決されました。

日程第 2 5 令和 7 年陳情第 1 号 及び 日程第 2 6 令和 7 年陳情第 2 号
○議長（山本 芳昭君） 陳情第 1 号、第 2 号、タブレット議会報告・発議フォルダー、
陳情審査報告書ファイルをお開きください。

日程第 2 5、令和 7 年陳情第 1 号、「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書、日程第 2 6、令和 7 年陳情第 2 号、裏金問題の徹底
解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情、以上、陳情 2 議案
を一括議題とします。

各陳情は、さきに総務教育常任委員会に審査を付託していますので、委員長に委員会
における審査の経過及び結果についての報告を求めます。

総務教育常任委員会委員長、大西保議員。

○総務教育常任委員会委員長（大西 保君）

.....
陳情審査報告書

令和 7 年 3 月 2 6 日

日南町議会議長 山 本 芳 昭 様

日南町議会 総務教育常任委員会
委員長 大 西 保

先に、本委員会に付託された令和 7 年陳情第 1 号「『最低賃金法の改正と中小企業支
援の拡充を求める意見書』の採択を求める陳情書」につき、審査の結果を報告する。

審査の経過及び結果

本委員会は、令和 7 年 3 月 1 7 日に委員会を開催し、慎重審議した結果、次の理由に
より、賛成少数をもって不採択と決定した。

理 由

地域間の格差解消と全国一律 1,500 円以上を実現できる中小企業支援をすべきとの
意見もあるが、全国一律とすることは地方経済に与える影響が大きい。最低賃金の引き
上げは、各地域の実情に即して行うべきであり、雇用の安定と地域経済の活性化を両立
させる政策が求められる。

.....
陳情審査報告書

令和 7 年 3 月 2 6 日

日南町議会議長 山 本 芳 昭 様

日南町議会 総務教育常任委員会
委員長 大 西 保

先に、本委員会に付託された令和 7 年陳情第 2 号「裏金問題の徹底解明とパーティー
券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情」につき、審査の結果を報告する。

審査の経過及び結果

本委員会は、令和7年3月17日に委員会を開催し、慎重審議した結果、次の理由により、賛成少数をもって不採択と決定した。

理 由

裏金問題の徹底解明と企業・団体献金は全面禁止すべきとの意見もあるが、裏金問題については、政治資金収支報告書に不記載のあった議員は政治倫理審査会で答弁しており、元会計責任者についても有罪判決が出ている。企業・団体献金の全面禁止については、政治資金収支報告書の公開により、透明性を確保する議論が必要であるとする。

.....

以上であります。

○議長（山本 芳昭君） これより委員長報告に対する質疑を許します。

〔質疑なし〕

○議長（山本 芳昭君） 質疑を終結します。

これより討論、採決を行います。

討論、採決は、陳情ごとに行います。

日程第25、令和7年陳情第1号、「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書の討論を許します。

本陳情に対する委員長報告は、不採択です。

まず、原案である陳情第1号に反対する議員からの発言を許します。（発言する者あり）反対者って言った。すみません、失礼しました。賛成者からの発言を許します。申し訳ありません、訂正します。賛成者からの発言をお願いします。

5番、岡本健三議員。

○議員（5番 岡本 健三君） 令和7年陳情第1号、「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書を採択すべきとの立場で討論します。

今、報告がありました不採択とする理由に、最低賃金を全国一律とすることは地方経済に与える影響が大きいということがありました。しかし、この陳情の核心部分は、経営が継続できるように中小企業、小規模事業所への支援策を抜本的に拡充強化する、つまり、経済への悪影響が出ないように、中小の事業者へ十分な支援をするという部分です。

私の一般質問でも取り上げましたが、例えば鳥取県は賃上げに直接支援するのではなく、設備投資に対する支援をしています。しかし、このような支援では、中小事業者への十分な支援はできません。現に、この補助金、令和5年度に8億円もの予算がありましたが、6億円も残し、6年度に繰り越しても11月の時点で100件程度の利用しかなかったということです。

一方で、岩手県が令和5年12月に打ち出した、従業員1人当たり年間5万円を上限として賃上げに直接支援する補助金は、2,889件の申請があり、従業員2万3,000人分、金額にして10億1,500万円の利用がありました。どちらが中小企業支援に役

立っているか、明白ではないでしょうか。

一般質問の答弁では、昨年４月から９月の鳥取県の賃上げは岩手県より進んでいるとお話もありましたが、最新の結果、昨年１２月の実質賃金指数を見ると、鳥取県が前年同月比１０．４、岩手県は９．５と大きな違いはありません。なおかつ、岩手県は昨年１２月に１人当たり上限額を６万円に引き上げるなど、補助金の拡充をしています。しかし、それでも最低賃金引上げの影響を受ける労働者の約半分をカバーするにとどまり、本当に十分な支援とは言えません。

十分な支援を実現するには、この陳情が訴えているとおり、国が中小企業支援を抜本的に拡充強化する必要があります。財源は、大企業が抱える５００兆円を超える内部留保に課税することで、５年間で少なくとも１０兆円を得られます。地域によって家賃が高かったり、交通費にお金がかかったり、内容に多少の違いはありますが、生活に最低限必要なお金の額に大きな違いはないことも全国的な調査から分かっています。中小企業への徹底的な支援で全国一律１,５００円以上の最低賃金を実現してこそ、地域間の格差が解消され、全国どこでも人間らしい生活が保障される賃金になることを申し上げまして、私の討論といたします。

○議長（山本 芳昭君） 次に、陳情原案に対する反対者からの発言を許します。

６番、岩崎昭男議員。

○議員（６番 岩崎 昭男君） 私は、この陳情に対して反対の立場で討論をいたします。

先ほど賛成議員のほうは、この意見書は最低賃金を全国一律にすることではないとおっしゃいましたが、実際出てまいっております陳情書、その１番には、政府は最低賃金を全国一律制度に改正することと明確に書いてあります。そして、２つ目には、政府は労働者の生活を支えるため、最低賃金、直ちに１,５００円を実現し、１,７００円を目指すことということが書いてあります。そういう意味において、もうまさに最低賃金全国一律化を求める意見書だと私は捉えております。

そういうことにおきまして、私は反対の意見としまして、やっぱり現在、都市部と地方の最低賃金には差があります。これは経済の均衡によるものでありまして、例えば都市部は生活費が高く、企業も高い賃金を支払いますが、地方は生活費が低く、労働者も低賃金で働く傾向にあります。こうした均衡が保たれることで、各地域の経済が成り立っております。もし、全国一律の最低賃金が導入され、地方の賃金が均衡賃金を超えれば、企業は経営が困難となり、倒産や雇用縮小が相次ぎ、結果として地方の失業が増加し、働き口を求めた人々が大都市へ流出することとなります。そして、さらなる地方の衰退が招いていくと考えます。

政府も既に地域間格差の是正に向けた支援を実施しており、最低賃金引上げを支援する施策が進められております。このような状況を踏まえれば、最低賃金の一律化は拙速な対応であり、かえって地方経済を衰退させる可能性が高いと私は考えます。最低賃金の引上げは各地域の実情に即して行うべきであり、雇用の安定と地域経済の活性化を両

立させる施策が求められているものであります。

以上から、私は本陳情に反対するものであります。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

令和7年陳情第1号の委員長報告は、不採択です。よって、採決は、陳情の原案について行います。

本陳情を採択とすることに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 採択とする議員。起立2名です。起立少数です。よって、本陳情は、委員長報告のとおり不採択とすることに決定しました。

日程第26、令和7年陳情第2号、裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情の討論を許します。

本陳情に対する委員長報告は、不採択です。

まず、原案である陳情第2号に対する賛成者からの発言を許します。

4番、荒金敏江議員。

○議員（4番 荒金 敏江君） 私は、裏金問題の徹底解明、パーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情を採択すべきという立場で討論します。

3月24日に報道された共同通信社による世論調査では、石破内閣支持は27.6%と急落、支持しないが57.8%でした。企業・団体献金については禁止するべきだという意見が56.4%、禁止する必要はないは31.5%、政治と金問題が自民党政権下で根絶に向かうかという質問には、向かわないが78.5%という結果でした。民主政治の基本は、国民の政治に対する信頼が基盤です。それを根底から覆している実態が示されたと言えます。

自民党は、政党交付金として、令和7年度予算が通れば国民の税金から約136億3,900万円を受け取るようになります。政党助成金は、リクルート事件やゼネコン汚職など、企業と政治家をめぐる金権腐敗事件が相次ぎ、政治改革が叫ばれたとき、企業・団体献金をなくすという口実で1995年から導入されました。1995年1月施行の改正政治資金規正法附則9条に、政治家個人への企業・団体献金について、施行5年後にこれを禁止する措置を講じると明記しています。また、10条には、政党への企業・団体献金も5年後に見直しを行うものとするとしています。この約束を果たすべきときです。

自民党自らによる裏金問題の解明、国会における真相解明に取り組み、政治の信頼を取り戻すためにも、企業・団体献金を禁止し、金権腐敗政治の一掃を求めるというこの陳情を採択すべきと考えます。

○議長（山本 芳昭君） 次に、陳情原案に対する反対者からの発言を許します。

3 番、荒木博議員。

○議員（3 番 荒木 博君） 裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情について、私は委員長報告に賛成の立場で討論をいたします。

政治資金パーティー券のノルマ超過部分を議員に還流した裏金問題については、各議員が還流された金額を収支報告書に記載しなかったことが問題であり、政治資金パーティーそのものには問題がないと考えています。また、企業・団体献金の全面禁止の法案については、政治資金は政治活動において必要なものであり、政治資金規正法に基づき、政治活動が国民の不断の監視と批判の下に行われるようにするために、収支報告書の透明性を確保する議論が重要であり、禁止する必要はないと考えております。よって、私は委員長報告に賛成をいたします。以上です。

○議長（山本 芳昭君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結します。

これより採決を行います。

令和 7 年陳情第 2 号の委員長報告は、不採択です。よって、採決は、陳情の原案について行います。

本陳情を採択とすることに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（山本 芳昭君） 起立 2 名です。起立少数です。よって、本陳情は、委員長報告のとおり不採択とすることに決定しました。

日程第 2 7 議員派遣の件

○議長（山本 芳昭君） 日程第 2 7、議員派遣の件を議題とします。

タブレット追加報告書フォルダーをお開きください。

今後予定されています議員派遣の件については、議員派遣ファイルのとおりです。

お諮りします。議員派遣について、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、議員派遣ファイルのとおり決定しました。

日程第 2 8 委員会の閉会中の継続調査について

○議長（山本 芳昭君） タブレット閉会中の継続調査ファイルをお開きください。

日程第 2 8、委員会の閉会中の継続調査についてを議題とします。

委員会の閉会中の継続調査については、申出書記載のとおり、議会運営委員会、総務教育常任委員会、経済福祉常任委員会、議会広報常任委員会、中心地域及び住宅政策調

査特別委員会、以上、それぞれの委員長から閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りします。各委員長の申出書のとおり、閉会中の継続調査に付することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、委員長の申出のとおり、閉会中の継続調査に付することに決定しました。

○議長（山本 芳昭君） ここで、町長から発言が求められていますので、これを許します。

中村町長。

○町長（中村 英明君） 3月定例議会の最終日に当たり、かつ閉会に当たりまして、御挨拶を申し上げさせていただきたいと思います。

3月4日からの23日間の長期にわたります3月定例議会でありました。大変お疲れさまでした。また、提案をさせていただきました議案に対しまして、御承認いただきましたことに厚く御礼を申し上げたいというふうに思います。

国のほうでは、地方創生2.0、いわゆる令和の列島改造の始まるの年度となります。国の発展には地方の発展が不可欠との考え方で、かつそれぞれの地域でその地域の特色が必要と述べられています。本町におきましても、第3期の総合戦略を基軸にそれぞれのKPIを設定し、その目標達成に向け尽力してまいりますので、御協力をお願い申し上げます。

そして、令和7年度当初予算におきましては、未来を守り、希望を育む創造的挑戦予算としておりまして、着実に進めるよう職員一丸となって邁進をしていきたいと思っております。

なお、先ほど当初予算に当たりまして、予算審査特別委員会において御意見をいただきました案件につきましては、内容を精査し、早い段階で方向性の判断をしていきますので、また御協議のほうをお願いを申し上げたいというふうに思います。

最後になりますが、今年の冬は降雪もあり、寒い日が多かったように感じております。しかしながら、近日は天候もよく、気温が急に上がって、太平洋側では早くも夏日を記録しております。道端ではフキノトウの姿も見られるようになり、春であります。農地周辺では、人や機械の姿を見受けられるようになりました。町民の皆様には御自愛いただきまして、令和7年度の好スタートを切ってほしいと願い、御挨拶とさせていただきます。定例議会、本当にありがとうございました。

○議長（山本 芳昭君） お諮りします。今期定例会に付議された案件は、以上をもって全て議了しました。これをもって会議を閉じ、今期定例会を閉会としたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 異議なしと認めます。よって、令和7年第2回日南町議会定例会の会議を閉じ、閉会とします。

午前10時28分閉会

議長挨拶

○議長（山本 芳昭君） 閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、3月4日から本日まで長期にわたり審議を行い、ここに全議案を議いたしました。会期中には、令和6年度補正予算、条例の一部改正、また、一般会計74億1,100万円、特別会計を合わせると総額110億9,000万円の令和7年度予算を御審議いただき、ただいま閉会できましたことは、議長として感謝に堪えません。執行部各位におかれましては、議案説明、議案審議に格段の御協力をいただき、誠にありがとうございました。衷心より厚く御礼申し上げます。令和7年度予算については、審議過程での要望や意見、そして予算審査特別委員会での審査意見などを十分に精査、検討され事業実施に当たっていただきますようお願いを申し上げます。

今年度は機構改革が提案され、新たにまち未来創造課、環境エネルギー課、こども若者未来課が創設されました。今月で丸1年が過ぎますが、課の新設によって業務がより効率的になったのか、もし支障があったのならどう改善すればよいか、早急に検討していただきたいと思います。

2年前は6,000円台だった米の値段も、今年度は8,900円となり、農家にとってはありがたいことですが、報道では米不足ということも伝わっております。最近ではイベントも盛んになり、人の移動も活発化し、あのコロナ禍は何だったのかなというふうに思っております。雪も解け、田植の準備が忙しくなる頃となりました。高齢化は進みますが、議員各位、執行部の皆様で知恵を出し合って、もっと元気なまちになるように、体調に十分注意され、議員活動、そして職務に精励されますようお願いを申し上げ、閉会の挨拶といたします。長期間お疲れさまでした。
